

(一社) 日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会
第41回水化学管理分科会 (P11SC) 議事録

1. 日 時 2019年2月21日 (木) 13:30~16:00

2. 場 所 (一社)原子力安全推進協会 C会議室

3. 出席者 (順不同、敬称略)

(出席委員) 室屋 (副主査)、北島 (幹事)、宇井、岡田、長瀬、高木、荘田、大橋、
赤峰、飯田、河合、梅原 (12名)

(委員候補) 杉野 (1名)

(常時参加者) 西村、甲川、古賀、山田 (4名)

4. 配付資料

【P11SC41-0】 第 41 回水化学管理分科会議事次第

【P11SC41-1】 人事について

【P11SC41-2】 第 40 回水化学管理分科会議事録(案)

【P11SC41-3】 PWR 二次系水化学管理指針の公衆審査結果について

【P11SC41-4-1】 “沸騰水型原子炉の水化学管理指針” の転載許諾に関する活動状況について

【P11SC41-4-2】 “加圧水型原子炉一次系の水化学管理指針” の転載許諾に関する活動状況に
ついて

【P11SC41-5】 水化学管理分科会活動の進め方について

【P11SC41-参考 1】 水化学管理分科会委員及び常時参加者一覧表

【P11SC41-参考 2】 水化学管理指針策定スケジュール(案)

5. 議事

(1) 開会のあいさつ

室屋副主査より、「参集いただき感謝する。本日は水化学管理指針の転載許諾と分科会の今後の進め方の審議をよろしく願います。」とのご挨拶があった。

(2) 人事について

北島幹事より、資料【P11SC41-1】に基づき、久宗委員の退任、杉野氏の委員選任が全会一致で了承された。

また、杉野氏の委員就任に伴い常時参加者からの登録解除について報告された。

(3) 第 40 回水化学管理分科会議事録の確認

北島幹事より、資料【P11SC41-2】の前回議事録について説明があり、コメントなく了承された。

(4) PWR二次系水化学管理指針の公衆審査の結果について

北島幹事より、資料【P11SC41-3】に基づき、"加圧水型原子炉二次系の水化学管理指針：201X"の公衆審査の結果、コメントなしであったことが報告され、3月の標準委員会で制定される見通しであることが報告された。

(5) “沸騰水型原子炉の水化学管理指針”及び“加圧水型原子炉一次系の水化学管理指針”の転載許諾対応のための改定について

北島幹事より、資料【P11SC41-4-1】に基づき、2017年6月に制定されたBWR水化学管理指針について転載許諾完了まで21ヶ月の長期を要した原因と、対応状況の説明があった。EPRIとSFENからの回答がなかったことが遅延の主な原因で、転載から引用への変更、転載不要としたもの、図や参考文献を転載許諾可能なものへ変更することにより対応したことが説明され、質疑応答のあと了解された。

また、PWR一次系水化学管理指針については、梅原委員より資料【P11SC41-4-2】に基づきBWR水化学管理指針と同様な説明と質疑応答を行った後、変更内容は概ね了承されたが、水化学ハンドブックより引用している図については二次引用になるので、システム安全専門部会でコメントが出た場合は図は削除し、引用とすることとした。

(6) 水化学管理分科会活動の進め方について

北島幹事より、資料【P11SC41-5】を用いて、分科会の今後の進め方について紹介があり、今後の水化学管理指針や水化学分析標準の改定要否検討や改定作業が必要となった場合の対応について議論した。学会標準を維持するためにPDCAサイクルを着実に回し、国内外の情報収集、現場での適用実績確認が重要である。その上で、改定要否検討は、常に最新動向等を踏まえて議論する必要があることから、本分科会は存続させることとし、年1回の分科会とその準備会を年1回程度で進めるとの提案がなされた。

これに対しては特に異議はなかったものの、電事連の化学管理検討会は本会とは直接関係しないので、記載から削除すべきとのコメントや、改定要否判断の議論を進めるための国内外の情報収集等の具体的な進め方については実施主体を明確にする必要があるといったコメントがあった。本日のコメントを反映した修正版を各委員・常時参加者に送り、更にコメントを依頼することとした。

来年度はJANSIの予算も確保していないことから、再来年度以降は調査費用を予算計上することも含めて次回の分科会（6月ごろ）でさらに進め方の議論をしていくこととなった。

以 上